

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	平成29年度公営住宅(下山門住宅)	階数	地上10F
建設地	福岡市西区下山門団地870-1他31	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法第	平均居住人員	119 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2017年9月8日
敷地面積	3,180 m <sup>2</sup>	作成者	本山 亮平
建築面積	592 m <sup>2</sup>	確認日	2017年9月12日
延床面積	4,275 m <sup>2</sup>	確認者	藤田 俊郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 1.2</b></p> <p>☆☆☆☆☆ A: ☆☆☆☆☆ B: ☆☆☆☆☆ C: ☆☆☆☆☆</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

**2-4 中項目の評価(バーチャート)**

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2のスコア = 2.8</p>	<p>Q3のスコア = 2.4</p>

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2のスコア = 3.0</p>	<p>LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項	
<p><b>総合</b></p> <p>全住戸南向きとなる住棟配置とし、良質な居住環境を提供すると共に、敷地外周部に植栽を計画し周辺環境に配慮した計画としている。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>0</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>使用材料等は全てF☆☆☆☆材を使用することにより、室内環境に考慮した計画とするとともに、遮音性能に優れた境界性能とすることにより、プライバシーの確保・騒音対策に配慮した計画としている。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>共用廊下及び住戸内は高齢者等に配慮した計画とするとともに、維持管理が行いやすい計画としている。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>住宅設計性能評価にて省エネルギー対策等級3を取得予定とし、温熱環境に配慮した計画としている。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>非構造材料にリサイクル資材を採用すると共に、躯体と仕上げ材を容易に分別可能な計画としている。</p>
	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>周辺環境に配慮した色彩とし、まちなみに調和した計画とすると共に、可能な限り緑化に動めた計画としている。</p>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>適切な量の駐車場及び駐輪場を確保すると共に、ゴミの分別が可能なストックスペースを設ける事により周辺環境へ配慮した計画としている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される